

## 平成 21 年度における概況

### 1 上水道事業

平成 21 年度末の事業数は 31 であり、うち 30 が稼働している。

全事業の計画給水人口は、1,882,148 人となっており、現在給水人口は 1,781,284 人で昨年より 4,603 人 (0.25%) 増加している。

年間給水量は、254,654 千 $m^3$ で、前年度より 4,475 千 $m^3$  (1.72%) 減少しており、実績 1 日最大給水量も 816,356 $m^3$ で、前年度より 21,741 $m^3$  (2.59%) 減少した。

給水収益は、36,940,722 千円で、前年度より 470,588 千円 (1.25%) 減少し、給水人口 1 人あたりの水道料金負担額は、年間 20,738 円となっている。

年間取水量は 261,808 千 $m^3$ で前年度より 2,779 千 $m^3$  (1.05%) 減少し、取水量に対するロス率は 2.7%、有収率は 87.0%である。年間有収水量を用途別に見ると、最も多いのは生活用の 175,410 千 $m^3$ で、次いで営業用の 34,286 千 $m^3$ となっている。

供給単価は 167 円 /  $m^3$ で、前年度より 2 円 /  $m^3$ 増となっている。

### 2 簡易水道事業

箇所数は 119 で、うち 119 が稼働している。現在給水人口は 92,135 人で前年度より 6,034 人 (6.14%) 減少し、年間給水量は 14,032 千 $m^3$ で前年度より 573 千 $m^3$  (3.9%) 減少した。

1 日平均 38,444 $m^3$ を給水しており、前年度より 1,568 $m^3$  (3.91%) の減少となった。

年間有収水量は 11,320 千 $m^3$ で前年度より 682 千 $m^3$  (5.68%) 減少し、有収率は 80.7%であった。

### 3 専用水道

専用水道施設は 125 であり、現在給水人口は 18,611 人である。

125 施設のうち、水源が「自己水源のみ」のものが 60 施設で現在給水人口は 7,806 人、それ以外の「他の水道事業から給水を受けている」ものは 65 施設で現在給水人口は 10,805 人である。